

民報

あばしり

NO.1097

2016.12.4

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二、四四五八  
F 四三二、四四五七

衆院道12区

日本共産党

菅原 誠氏が立候補を表明

憲法を暮らしに生かす 政治に全力をあげる

「日本共産党北見地区委員会（衆院12区本部）は、11月11日に、北見市役所の記者クラブで会見し、次の衆議院選挙北海道12区候補として、2014年に引き続き、菅原誠氏（43歳）を決定したことを発表しました。

菅原氏は現在、日本共産党道委員、北見地区委員会委員長代行を務めており、衆議院選挙には4回目の挑戦となります。



菅原氏 菅原誠氏

会見で菅原氏は、「安倍政権が進める政治に正面から対決する政治が求められています。それには国民が主権者意識をもつて立ち上がる事だと思えます」とのべ2点について強調しました。

法制の廃止。そして集団的自衛権行使容認の撤回と憲法9条を活かした平和外交に徹すること。人間らしく生きる権利を保障される社会保障の確立だ」と述べました。



山のツリー

松浦奮戦モ!



オホーツク勤医協労働組合の役員が、11月28日「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書を網走市議会議長に提出しました。

私には、議長に直接渡したいとの連絡があったので、議会事務局とも連絡・調整して、この日の申し入れになりました。陳情書では、医療や介護の現場は、慢性的な人手不足のため、働き続けることが困難な状況にある。厚労省も夜勤交替制労働の軽減など求

める通知を出しているが、依然として16時間を超える長時間夜勤や介護施設では1人夜勤など、労働者の健康だけでなく、患者・利用者の安全と尊厳が脅かされる状況とのことです。労働がきついなど、3Kといわれる状況の改善をはじめ働きやすい環境にすることが求められています。



説明を受ける山田議長



28日～29日の雪で山は墨絵のように美しく（大観山）動物さえもつるつる路面に恐怖さえ感じました

街・スポットライト

▼大阪からお伝えします。先日、日本一高いビルが売りの物『ハルカス』がある「あべの」という繁華街に出かけた時のおぼちゃんたちの会話を紹介します。それは帰宅のバスを待っている時でした。ちなみに交通機関はJRと市営バスがあります。街中を走るバスは利用者が多く、ここ始発駅はいつもバスを待つ人で長い列ができます▼Aさんが話しかけてきました「バスの本数減ったからいつも10～20分待たされるわ」私「そうなの、本数減ったの？乗客の多い路線なのに・・・」するとAさん「前の市長の橋下が減らしたんや、敬老パスも有料にして年寄りは一駅ぐらい運動のために歩けばよいと冷たく言ったのよ」となりのBさん「そうやで、大阪が誇る文楽座への補助金もゼロにしたんやあんな冷たい人知らんわ」私はふんふんとうなずくだけ。▼二人のおぼさんの憤慨はエスカレート。「知事の松井も万博を夢洲に持ってきてきてカジノ万博にするっていうけどギャンブル依存症増やすだけ、子どもの教育にも良くない」「橋下の後継者の吉村市長も一旦住民投票で決着のついた大阪都構想を持ち出してるなあ」「知事も市長も何考えてるのかな！」私はやっ」と口を挟むことができ「みんなおしやべり本当にそうだと思うわ、だからもつともみんな怒らんとあかんわ」と言ったところでバスが来ました。▼どのおぼちゃんか知らなけれど大きな声で怒りをぶちまけて少々は気が晴れたかも。

(U)